

平成21年度

教育に関する事務の管理及び執行  
の状況の点検及び評価報告書  
(21年度事業対象)

岩舟町教育委員会

# 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の方針

岩舟町教育委員会

## 1. 趣旨

岩舟町教育委員会は、「教育委員会の主な具体的事務事業」の執行状況について点検及び評価を行い、当該年度における課題等を明らかにして見直しを図ることにより、今後の教育行政の効果的な進展に資する。

点検及び評価の結果は、報告書として取りまとめ岩舟町議会に報告するとともに、町民に公表することにより、開かれた教育行政を推進する。

## 2. 方法

- (1) 点検評価は、「岩舟町教育振興計画」に基づく「教育委員会の主な具体的事務事業」を評価項目とする。
- (2) 教育委員会は、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する有識者」を委嘱する。
- (3) 点検及び評価は、当該年度の執行状況を内部評価した上で、学識経験者の意見を聴取する。
- (4) 教育委員会は、点検及び評価を行った後、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表する。

## 3. 点検評価項目

<教育委員会の主な具体的事務事業>

- (1) 教育委員会の責務の確認と積極的な活動の推進
- (2) 開かれた教育委員会の推進
- (3) 教育委員会事務局の所掌事務の明確化と適正な事務の執行
- (4) 学校の体制の研究と管理・指導
- (5) 教職員の適正な人事と研修の充実
- (6) 児童生徒の就学及び学校の組織編制の整備
- (7) 学校及び公共の施設等の整備と活用
- (8) 人権教育の推進
- (9) 家庭教育支援に係る諸事業の展開
- (10) 社会教育の振興に係る公民館活動等の積極的展開
- (11) 他機関・民間団体、地域住民等との連携・協力を図った教育・文化・スポーツに係る諸事業の推進

#### 4. 点検・評価のスケジュール

4月～12月 施策の進捗状況等のとりまとめと内部評価

1月中 教育評価委員からの意見聴取

2月中 点検及び評価の報告書作成

3月中 岩舟町議会へ報告  
ホームページで公表

#### 教育評価委員

前 田 英 雄	志 田 浩 子	井 上 俊 男
---------	---------	---------

#### 外部評価経過

回	日 程	時 間	内 容
1	1月13日(水)	午前10時～	・ 委嘱書交付 ・ 評価シート当日配布 ・ 評価の方法等について協議
2	1月20日(水)	午後1時30分～	・ 各課室ヒアリング (学校教育課、人権推進室、社会教育課)
3	1月28日(木)	午前10時～	・ 外部評価のまとめ
4	3月4日(木)	午前10時～	・ 岩舟町議会全員協議会報告

平成21年度事務事業の点検評価シート

評価項目1	教育委員会の責務の確認と積極的な活動の推進
具体的目標	(1) 教育委員会の会議内容の充実に努める。 (2) 教育委員研修の充実に努める。 (3) 教育委員相互の情報交換と教育情報の収集に努める。
主な事業名	定例会、臨時会、各種研修会の参加、学校訪問、各種行事・大会への参加

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 教育委員会の会議内容の充実 教育委員会会議は、定例会、臨時会を開催した。議事録については、事前配布するなどして、審議時間の確保を図った。また、教育委員会定例会を学校で開催し、給食の試食、授業参観、施設調査などを合わせて実施した。</p> <p>(2) 教育委員研修の充実 関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会、栃木県連合会研修、下都賀地区連合会定例の委員研修に積極的に参加し研修を深めた。</p> <p>(3) 教育委員相互の情報交換と教育情報の収集 教育委員の情報収集及び相互の情報交換を通して、定例会における審議の充実に図られてきた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会議の工夫改善により能率的に運営できるようになり審議時間の確保が図られた。</li> <li>・学校訪問により学校の様子が良く把握ができた。</li> <li>・委員研修での情報交換や課題研修を通して多くの情報が得られ知見を広められた。</li> <li>・委員会での審議内容が活発化されてきた。</li> <li>・事務局からの更なる情報提供が必要である。</li> </ul>

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会の会議資料を事前に配布し、効率的に話し合いができるよう工夫している点は評価したい。</li> <li>・学校訪問は年に一度でなく、できる限り定例会に合わせて各学校を回り学校の実態把握に努められたい。</li> </ul>

平成21年度事務事業の点検評価シート

評価項目2	開かれた教育委員会の推進
具体的目標	(1) 教育委員会の積極的公開に努める。 (2) 教育委員会からの積極的情報提供の推進に努める。
主な事業名	町公式ホームページ上での情報提供 教育委員会要覧の作成配布

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 教育委員会の積極的公開</p> <p>毎月、定例教育委員会の開催日程をホームページへ掲載してきた。</p> <p>(2) 教育委員会からの積極的情報提供の推進</p> <p>ホームページ上で教育委員会のお知らせコーナーを設け積極的に情報の発信に努めてきた。発信内容は、次のとおり。</p> <p>①教育委員会の概要(教育委員会制度、教育委員名簿、教育委員会の仕事)</p> <p>②教育委員会定例会のお知らせ</p> <p>③岩舟町のこれからの教育について(教育長)</p> <p>④岩舟町教育振興計画</p> <p>⑤教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書</p> <p>年度当初に教育委員会要覧を作成配布し教育委員会の事務事業等の情報提供に努めてきた。</p>	<p>・議事録の公開については、今後の課題として検討中である。今後どう段階的に議事録を公開していくか課題となっている。</p> <p>・開かれた教育委員会を目指すため更なる分かり易い情報提供に努めていきたい。</p>

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に情報公開に努められていることは評価すべきではあるが、プライバシー保護に十分配慮し公開されるよう望む。</li> <li>・ホームページでの情報公開は、内容的にとっても充実してきている。</li> <li>・定例の教育委員会開催日程はホームページへ掲載されているが、内容についても工夫しながら可能な範囲で掲載できると、町民の教育に対する関心が高まるのではないかと。</li> </ul>

平成21年度事務事業の点検評価シート

評価項目3	教育委員会事務局の所掌事務の明確化と適正な事務の執行
具体的目標	(1) 所掌事務の明確化を図る。 (2) 適正な事務の執行に努める。
主な事業名	岩舟町教育振興計画の策定、主な施策の実施と課題への対応の実施工程表の作成

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 所掌事務の明確化</p> <p>事務局の所掌事務については、岩舟町教育委員会事務局組織規程に基づき執行をしている。</p> <p>年度当初に事務分担表を作成し、職務分担については担当長制度により適正かつ能率的な執行に努めている。</p> <p>(2) 適正な事務の執行に努める。</p> <p>岩舟町教育振興計画及び平成21年度教育委員会スタートに当たって(教育長訓示)を踏まえて、具体的実践内容を「主な施策の実施」、「課題と対応について」、「課題事項及び主な施策の工程表」を作成し計画的に推進してきた。</p> <p>特に実施工程表については、適宜見直しを行いながら事務事業を推進してきた。</p>	<p>・担当長制度より各担当間の相互協力支援関係が構築され能率的な職務遂行に努めることができた。</p> <p>・「課題事項及び主な施策・事業の工程表」により各職員は自他の職務の進捗状況が把握できてより効率的な取り組みが図れた。</p>

外部評価
<p>・事務事業の取り組みについては、岩舟町教育振興計画に基づき施策・課題を明確にし、実施工程表により適切な管理が行われていることは極めて良いことなので、今後も続けてほしい。</p>

平成21年度 事務事業の点検評価シート

評価項目 4	学校の制度・体制の研究と管理・指導
具体的目標	(1) 町内小中学校の学校経営充実に向けた指導と支援に努める。 (2) 町内幼保小中学校教育の連携強化を指導・支援する。 (3) 家庭・学校・地域・行政が一体となって取り組む教育を推進する。
主な事業名	①町教育振興計画の作成・啓発、町教育行政・人権行政・学校教育推進計画の作成と実施 ②町内幼保小中連携会議の実施と幼保小中交流事業の展開 ③小中学校ジョイントプログラム事業の推進 ④学校・地域ボランティアとの連携推進と育成・支援 ⑤教育環境整備に係る事業の推進

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 町内小中学校の学校経営充実に向けた指導と支援 教育行政方針、町教育振興計画、人権教育計画・学校教育推進計画等を作成し、学校経営の充実に向け校長会や学校訪問等により周知を図った。また、学校評価の具体的な実施方法について検討し、評価結果を活用しての実態把握に努めることにより、より充実した教育の実現に向け適切な支援を行った。</p> <p>(2) 町内幼保小中学校教育の連携強化を指導・支援 教務主任会や教育研究委員会等で、昨年度までのジョイントプログラム推進事業の内容を分担し、小中・小小学校交流、小中教員交流事業、幼児児童生徒の進学に係る情報交換会等の計画と実施に向けた指導・支援により、町内幼保小中学校教育の連携強化を図った。</p> <p>(3) 家庭・学校・地域・行政が一体となって取り組む教育の推進 地域ボランティア、学校安全ボランティア、町芸術の里づくり事業(ようこそ先輩課外授業等)支援、家庭教育学級・学校支援員、青少年育成町民会議関係者等の効果的な活用に向け、各事業の推進・支援に努めた。 また、学校評議員制度や学校関係者評価が有効に機能するよう、実施方法の検討と支援を行った。 教育環境整備に係る事業についても、予算の範囲内で効果的な推進を図ってきた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の経営方針の中に町の教育方針が生かされたことで、課題が共有化され円滑な学校経営がなされた。</li> <li>・学校評価については、目標達成状況の適切な把握とより効果的な活用、改善に向けた組織的取組が行われた。</li> <li>・ジョイントプログラム推進事業を継承し、小中・小中交流における体験活動の充実により、児童生徒のコミュニケーション力の向上や小中間の段差の緩和を推進することができた。</li> <li>・小中教員交流事業や情報交換会では、教師の教育観や指導法の段差の緩和による指導力の向上や配慮児童生徒への支援の在り方の共有化を図ることができた。</li> <li>・家庭・学校・地域・行政が一体となって取り組むことにより、地域の実態にあった特色ある充実した学校づくりを行うことができた。また、教育環境整備に係る事業の推進では、予算の範囲内で計画的に推進してきたが、今後も学校の要望に対して可能な限り対応していきたい。</li> </ul>

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ようこそ先輩課外授業の取り組みはすばらしい。</li> </ul> <p>今年3年目ということで、次年度からは県の補助金がカットされるということだが、町単独事業として何らかの形で継続できるようにしていただきたい。</p>

平成21年度事務事業の点検評価シート

評価項目5	教職員の適正な人事と研修の充実
具体的目標	(1) 教職員の適正な人事とその活用に努める。 (2) 教職員個々の育成及び組織としての活性化に向けた指導と支援に努める。
主な事業名	①教職員に係る適正な情報の収集と適切な指導・評価の実施 ②教職員の適正な人事配置の研究・実施 ③教職員としての個々の資質能力向上への指導と支援に係る事業の展開 ④組織としての学校力向上への指導と支援の機会と場の設定・実施

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 教職員の適正な人事とその活用</p> <p>教職員に係る人事評価制度の履行及び校長会、学校訪問等により、適正な情報収集と指導を進めた。 また、学校力アップに努めた人事異動の結果の検証と課題の確認に努めた。 学校栄養教諭が町内1名で、多忙を極めているため町費による食育指導管理栄養士を配置することとした。</p> <p>(2) 教職員個々の育成及び組織としての活性化に向けた指導と支援</p> <p>学校訪問での学校課題への取組方法やその成果と課題の把握と指導、授業参観による教職員個々への指導・助言、教育研究委員会での各学校の課題への取組方法やその成果と課題の情報交換等を行うことにより、教職員個々の指導力の向上及び学校組織の活性化に努めた。 また、外国語活動研究委員会の設置と計画的な研修会の実施など、新教育課程への円滑な移行に必要な準備体制づくり、全国学力・学習状況調査の結果分析と課題改善に向けた指導体制確立への支援により教職員の指導力の向上を図った。</p>	<p>・教職員個々に係る情報は勿論、学校組織の状況も的確にとらえられた。 ・今後も、町教育のビジョン実現に向け、バランスのとれた学校運営組織の構築に努めていくことが大切である。 ・食育指導管理栄養士の配置により、食育の重要性についての啓発内容が深まった。 岩舟中学校 文部科学大臣表彰</p> <p>・学校訪問により、意図的・計画的に各学校の実態把握と学校課題への取組方法やその成果の確認、課題改善に向けた指導を行うことができた。そして、授業参観による教職員個々への指導・助言により、教職員の指導力向上及び組織としての活性化を行うことができた。 ・ALTの配置(町として1名増に)や小学校外国語活動研究委員会の運営、各学校における授業研究会の実施等により、外国語活動授業の具体的な指導イメージづくりを行うことができた。引き続き、教職員の指導力向上や新課程への準備体制づくりを支援することで、新課程への円滑な移行に向け支援を継続しなければならない。</p>

外部評価
<p>・町費による管理栄養士・ALT(外国人英語指導助手)の配置は評価したい。さらに適切な人材配置と教育環境整備へのご尽力をお願いしたい。</p>

平成21年度事務事業の点検評価シート

評価項目6	児童生徒の就学及び学校の組織編成の整備
具体的目標	(1) 町内就学児童生徒の実態・状況に応じた適切な教育の推進に努める。 (2) 学校が組織的に機能するように適正な学級組織等の編成に努める。
主な事業名	①就学(幼保小中)児童生徒の確実な情報把握 ②適切な町教育計画の策定と実施(各学校の特色あるカリキュラム、特別支援教育計画、問題を持つ子への対応) ③学校評価の適正な実施と活用

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 町内就学児童生徒の実態・状況に応じた適切な教育の推進</p> <p>町健康福祉課と連携し、3歳児検診や5歳児検診及び就学時健康診断などを通して入学前の子どもたちの状況の把握に努めている。そして、個々の特性にあった学習の場が提供できるよう、就学指導委員会を設置して事業ごとに検討を重ねている。また、<u>今年度からは、入級対象でない児童の数名に対しても就学前教育相談を実施した。</u></p> <p>また、スクールカウンセラーや教育相談員を配置し、不登校児童に対する相談や教職員の抱えている問題に対するアドバイスなど、きめ細やかな対応をしている。</p> <p>(2) 学校が組織的に機能するような適正な学級組織等の編成</p> <p>学校訪問や校長会、児童生徒指導委員会等による情報交換、諸調査の実施により、各学校の児童生徒の実態把握と指導・支援に努めてきた。また、<u>県費による教職員の加配等による配置は勿論、必要に応じて町費による非常勤講師や学校支援員を配置するなどして、より充実した教育の実現を目指した学級編成を進めている。</u></p>	<p>・子どもたち個々の特性に合った環境、機会が提供でき、また教育相談体制もより充実したものとなり、学校と保護者間の信頼関係が深まった。</p> <p>・課題としては、特別支援教育に対する理解が得られず、保護者との間に溝ができてしまうケースがあるが、<u>卒業後の生活にも関係する事なので、より良い方向を模索する必要がある。</u></p> <p>・学校訪問や校長会、児童生徒指導委員会等による情報を適切に把握することで、問題発生に対して適切に対応・指導することができた。</p> <p>・加配教員を配置することで、個に応じたより充実した指導を実現するための体制づくりを、支援することができた。</p>

外部評価
<p>・就学指導については、教員が信頼され、家族の理解を得ることが重要なので、関係部署としっかり連携して対応されたい。</p> <p>・教員に対する理不尽な要求などへの対応については、教員が児童生徒の教育活動に集中できるよう学校組織や町行政、保護者を含めたボランティアなどによる組織的なフォロー体制を整える必要がある。</p>

平成21年度事務事業の点検評価シート

評価項目 7	学校及び公共の施設等の整備と活用
具体的目標	(1) 小・中学校の耐震化を計画的に促進する。 (2) 学校環境整備計画を策定し、各学校の改修等を計画的に行う。
主な事業名	①岩舟小学校校舎耐震補強工事業 ④小野寺南小学校地盤補正事業 ②岩舟中学校体育館耐震補強工事業 ⑤中学校施設整備・修繕事業 ③小学校施設整備・修繕事業

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 小・中学校耐震化の計画的促進</p> <p>岩舟小学校の校舎は、国の耐震基準を満たしておらず、補強が必要であるため、平成21年度においては、耐震補強工事を実施した。</p> <p>岩舟中学校の体育館も補強が必要であるため、実施設計を委託している。現在の計画では、平成22年度に補強工事を行う予定としている。</p> <p>(2) 学校環境整備計画の策定、改修等の計画的推進</p> <p>小野寺南小学校地盤改修工事実施設計委託を行った。</p> <p>国の学校情報通信技術環境整備補助金、地域活性化・経済危機対策臨時交付金等を活用した事業に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町立学校等地上デジタルテレビ機器等調達</li> <li>・町立学校等地上デジタル化設備改修工事</li> <li>・岩舟中学校太陽光発電設備設置工事</li> </ul> <p>各学校施設は、いずれも竣工後20年以上を経過し、いたるところに不具合が生じている。大規模な改修等については、財政的に早急な対応ができないが、小規模な改修、修繕等については、当初予算編成時に各校からの要望を取りまとめ、予算が確保できた段階で年間の整備計画を立て、緊急を要するものから優先順位をつけて改修等を行っている。</p>	<p>・<u>岩舟小学校校舎耐震補強工事が完了し、子どもたちの安全が確保された。工期に関しては、子どもたちの学習に支障のないよう、夏季休業中に集中させ、学校との連絡を密にして工事が行われた。</u></p> <p>・岩舟中学校の体育館耐震補強工事の設計業務委託及び小野寺南小学校地盤改修工事実施設計委託については成果品を待つのみとなった。</p> <p>・<u>各学校に50インチデジタルテレビ60台及び電子黒板5台の導入が決まった。</u></p> <p>・長期にわたる工事等については、夏季休業中に施工するなど、できるだけ学校活動に影響の無いよう配慮しているので、特に支障無く不具合箇所の改修を行うことができた。</p> <p>・課題としては、老朽化により、各校とも大規模な改修を必要としているが、財源が確保できず、改修計画が立てられないことである。</p>

外部評価
<p>・財政難にもかかわらず、岩舟町の学校耐震化への取り組みなどは、補助金等を工夫しながら活用しており、すばらしい。</p> <p>・児童生徒に対して新しい教育環境の整備として、電子黒板やデジタルテレビ等の設置も計画的に進んでいるが、今後は、その効果的な活用方法についても研究していただきたい。</p>

平成21年度事務事業の点検評価シート

評価項目 8	人権教育の推進
具体的目標	(1) 集会所事業の推進に努める。 (2) 学社連携事業の推進に努める。
主な事業名	・集会所運営委員会の開催 ・下津原・西根南集会所教室の開催 ・人権教育担当者会議の開催、人権ポスター・標語コンクールの実施

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 集会所事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会所は基本的人権が尊重される社会の実現を目指し、人権教育啓発の推進、福祉の増進、地域交流活動の推進を図るため町内2か所に設置し、管理運営を行っている。</li> <li>・集会所の講座の企画及び運営に関し集会所運営委員会を設置し、事業の実施前・後に開催し各事業の内容について検討し町民へのチラシやホームページにより参加者を募った。</li> <li>・下津原集会所で5教室(料理、押し花絵、カラオケ、絵画、健康づくり)、西根南集会所で4教室(ふれあい、カラオケ、健康づくり、卓球)を開催した。</li> </ul> <p>(2) 学社連携事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の人権担当の先生による人権教育担当者会議を開催し人権教育推進事業実施のための検討を行った。</li> <li>・人権ポスター・標語を各学校で取り組み、表彰すると共に、人権週間や人権講演会、人権カレンダー等の啓発活動に活用した。</li> <li>・各学校において人権擁護委員による人権の花運動、人権講話・映画会、人権作文、習字、原画コンテストや人権講演会を開催し、児童生徒への啓発活動を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室参加者が、ふれあい学びあいながら人権意識の高揚が図れた。</li> <li>・集会所より遠い所の参加者が徐々に増えて来ているが、若年や男性が参加できる様な教室の開催が今後の課題である。</li> <li>・各人権教育・啓発事業により児童・生徒の人権意識の醸成が図れた。</li> <li>・経費や学習時間など学校や児童・生徒へ負担があまりかからない方法での実施が今後の課題である。</li> </ul>

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権問題は人づくりの基本であるので、児童・生徒の人権意識の向上を図るため、学校での映画会や人権講話などを人権擁護委員と連携しながら引き続き取り組まれない。</li> <li>・集会所講座の開催のほか、貸館事業としても自治会や子供会育成会など周辺地域住民にも積極的に利用され、福祉の増進・交流の場にもなっている。引き続き集会所の有効利用に努められたい。</li> </ul>

平成21年度事務事業の点検評価シート

評価項目 9	家庭教育支援に係る諸事業の展開
具体的目標	(1)家庭教育事業の充実に努める。 (2)家庭教育支援の充実に努める。 (3)県主催による家庭教育指導者養成研修会等への派遣に努める。
主な事業名	・小学校家庭教育学級（4校） ・中学校家庭教育学級 ・就学児健診を活用した子育て・親育ち講座（4校）

取り組み状況	成果と課題
<p>(1)家庭教育事業の充実 各小学校、中学校の家庭教育学級を実施。学校・PTA・支援チームでプログラムの企画検討を行い実施した。また終了後はアンケートを実施し、次回の参考とした。</p> <p>(2)家庭教育支援の充実 県主催による親学習プログラム終了者の方々に支援チームを組織し、学校との連携を図り支援する。</p> <p>(3)県主催による家庭教育指導者養成研修会等への派遣 県主催の家庭教育オピニオンリーダー養成講座・親学習プログラム終了者等の積極的参加に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親として、子どもとのかかわり方、今後子どもの育て方について理解が深まった。</li> <li>・支援チームを組織し、学校と連携を図り支援ができた。</li> <li>・家庭教育指導者研修の派遣に努めた。</li> <li>・県主催の指導者養成講座があるが、受講者の確保が困難な状況である。</li> </ul>

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育は、教育の基本であるので、家庭教育の充実に向けて、他部局と連携して、さらに継続して取り組んでいただきたい。</li> <li>・就学前園児の保護者も含めて、最近の保護者の規範意識が低下しているため、保護者の注意を喚起するような啓発活動をお願いしたい。</li> </ul>

平成21年度事務事業の点検評価シート

評価項目 10	社会教育での振興に係る公民館活動等の積極的展開
具体的目標	(1) 公民館事業の充実に努める。 (2) 文化会館での芸術文化の提供及び参加創造型事業の充実に努める。
主な事業名	公民館事業 ・幼児学級(1講座) ・高齢者教室(3箇所 3講座) ・パソコン講座(エクセル、ワード、デジカメ、年賀状作成) ・火曜パソコン塾(第2・4火曜日) ・図書室おはなし会(幼児、低学年対象 第2・4土曜日) ・一般教養2講座(裁判員制度、悪質商法) ・フラワーデザイン教室 ・そば打ち教室 文化会館 ・クラシック・歌謡・落語・映画の提供、マラソンプiano・地域住民参加の演奏会の実施。

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 公民館事業の充実</p> <p>生涯学習の中心施設及び地域文化の発信拠点としての機能をいっそう高めるよう事業の推進に努めた。</p> <p>また、住民の時代のニーズに即した、魅力あるメニュー作りに努めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少ない予算の中で公民館事業を実施し満足できるような事業に努めた。</li> <li>・団塊の世代(特に男性)や若い方にもっと参加していただけるような講座メニューを取り入れていきたい。</li> <li>・施設老朽化に伴い、和室エアコン取替、会議室用机・液晶テレビ・プロジェクターを購入した。</li> <li>・施設老朽化に伴い計画的又緊急を要する箇所の改修を進めなければならない。</li> </ul>
<p>(2) 文化会館での芸術文化の提供、参加創造型事業の充実</p> <p>クラシック音楽ホールとしての特徴を生かしながら、地域の芸術文化の拠点として、広く文化関連事業を展開した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業を通して、住民の文化意識の向上が図られた。</li> <li>・施設の老朽化に伴い、正面入口扉・空調機器・音響設備の改修を行い、液晶テレビを購入した。</li> </ul>

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座の内容がよくても、人が集まらない状況である。集客の方法を考えていただきたい。</li> <li>・住民のニーズに合わせた、集客の見込める催しを企画されたい。</li> <li>・公民館は、多数の住民が利用しているので、好感のもたれる接遇に努めていただきたい。</li> <li>・公民館は、老朽化しているので、計画的に修繕を進められたい。</li> <li>・文化会館の自主事業を、なお一層推進してほしい。(事業の内容を精査し集客に努めてほしい)</li> <li>・今後とも施設の改修を計画的に実施して、運営等に支障のないようにしていただきたい。</li> </ul>

平成21年度事務事業の点検評価シート

評価項目 1 1	他機関・民間団体・地域住民等との連携・協力を図った事業の推進
具体的目標	(1) 生涯学習推進事業の充実に努める。 (2) 生涯スポーツ事業の充実に努める。
主な事業名	・教育講演会の開催、ようこそ先輩課外授業・芸術祭・アートインレジデンスの実施、早稲田大学交響楽団岩舟町特別演奏会・ミュージカルの実施 ・スポーツまつり・健康マラソン大会・駅伝競走大会等を開催 ・総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を設置

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 生涯学習推進事業の充実</p> <p>教育講演会を共催で開催し、家庭と学校及び地域との相互理解を図り、次代を担う子どもたちへの大人の役割等生涯学習活動の推進を図った。</p> <p>芸術の里づくり事業を住民との協働により実施し、ようこそ先輩課外授業（町出身の著名人を小学校に招き、芸術の素晴らしさを伝える授業）を行った。また、芸術祭（岩舟町の文化・芸術についての講演・シンポジウム、住民参加によるオペラ・ベートーヴェン第九合唱や町出身者等のコンサートなど）を行った。アートインレジデンス（住民と芸術家が触れ合う機会）を提供すると共に、住民が主体的に創作活動を行える環境を整えた。また、学生である早稲田大学交響楽団の岩舟町特別演奏会を開催し、地域住民参加によるミュージカルを開催する。</p> <p>(2) 生涯スポーツ事業の充実</p> <p>町民のスポーツ人口の拡大と生涯スポーツ振興を図ると共に、体育協会主催で、スポーツまつり・健康マラソン大会・駅伝競走大会(予定)等を開催した。</p> <p>町民一スポーツの実現のため、総合型地域スポーツクラブの設立に向けて、設立準備委員会を立ち上げた。</p>	<p>・教育講演会を通して、子どもに家庭・学校・地域はどう係るべきかを考える良い機会となった。</p> <p>・ようこそ先輩課外授業では、生徒児童に芸術への感動と喜びを与えた。</p> <p>・芸術祭では、多くの住民に、文化・芸術を深く考えていただき、岩舟町の生んだ芸術家や、町内にもオペラ・第九合唱等の芸術に取り組む人の多さを知ってもらい、さらに芸術の感動を与えた。</p> <p>・レジデンスでは、陶芸と型染に真剣に取り組む意識が高まった。</p> <p>・早稲田大学交響楽団岩舟町特別演奏会を開催し、小中学生をリハーサルに招待等、本物のクラシックを聴くことにより、感動を与えた。</p> <p>・地域住民参加によるミュージカルでは、麻布国民学校集団疎開で岩舟の人たちと助け合い生き抜いた当時を表現する。</p> <p>・日頃スポーツに親しんでいる人や、親しむ事の少ない人にも、スポーツの楽しさを提供できた。</p> <p>・スポーツクラブについては、プレ事業や各種教室を実施した。町民のニーズや今後のクラブ運営の基礎としたい。</p>

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術の里づくり事業（ようこそ先輩、芸術祭、アートインレジデンス）等の展開が住民、子供たちに良い影響を与えている。補助事業が終了しても町の特徴として継続してもらいたい。</li> <li>・スポーツ関係に関しても体育協会と連携をとりながら、今後も継続的に推進してもらいたい。また、総合型地域スポーツクラブの推進に努めてもらいたい。</li> <li>・生涯学習・スポーツ全般に関して素晴らしい内容であるので、多くの住民の参加に努めてほしい。</li> </ul>